

平成 26 年 9 月 23 日
本 部 事 務 局

琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会（第 2 回）の開催について

琵琶湖・淀川流域が抱える様々な課題を整理し今後の取組の方向性等を検討する「琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会」の第 2 回研究会を、下記の通り開催します。

記

1 日 時 平成 26 年 9 月 29 日(月)13:00～15:00

2 場 所 御所西 京都平安ホテル 1 階「平安」
住所：京都市上京区烏丸通上長者町上ル TEL：075-432-6181
京都市営地下鉄烏丸線今出川駅下車（6 番出口徒歩 7 分）

3 議 事

平成 25 年の台風 18 号災害の概要及び流域の河川整備の状況について情報共有する。

(1) 平成 25 年台風 18 号災害の概要

瀬田川洗堰全閉や天ヶ瀬・日吉両ダム容量を最大限活用した貯留など、直轄河川の状況を近畿地方整備局より、府県管理河川の状況を京都府、滋賀県より報告

(2) 水害史、流域の変遷、河川事業等の取組の経緯

明治大洪水（明治 18(1885)年）や琵琶湖大水害（明治 29(1896)年）、南山城水害（昭和 28(1953)年）などの流域の水害の歴史や、流域の土地利用や人口分布、気候などの変遷、琵琶湖総合開発事業をはじめとする河川事業等の取組の経緯を、本部事務局より説明

(3) 河川整備の進捗状況

淀川水系河川整備計画に基づく直轄河川の整備状況を近畿地方整備局より、府県管理河川の整備状況を本部事務局より報告

4 その他

(1) 第 1 回の研究会では、研究会の今後の進め方を議論し、平成 26 年度は治水・防災に関する課題を主として整理する、また、利水・環境等に関する議論や統合的流域管理・流域対策のあり方に関する議論は、構成府県市の合意のうえ、次年度以降に行うことを確認した。

(2) 今回の研究会から、当研究会設置の提唱者であり、研究者・知事としての実績と豊富な知見を有する嘉田由紀子顧問（びわこ成蹊スポーツ大学 次期学長）を招聘し、座長の要請に応じて助言を求める。

(3) 流域市町村の意見を聴く機会の一つとして、流域の全市町村(75 団体)に対し、流域各市町村で顕在化している治水・防災上の課題など、流域が抱える今日的な課題の調査を実施しており(9/25 提出期限)、研究会の基礎資料として活用するとともに、近畿地方整備局、流域関係府県・市町村と情報共有を図る。